



第125回ワーキンググループ会議 (R6.10.24)

「福祉とデザイン」 ～多分野協働をすすめるために～

●話題提供者

長浜市社会福祉協議会 山岡 伸次 さん

『福祉とデザイン研究会』

福祉分野の色々な困りごとをもとに、インクルーシブデザイン視点で「新たな資源」開発に取り組む

インクルーシブデザインとは

①当事者と共にデザインする

当事者の気づきをデザインの出発点に

②多様な人と共にデザインする

許容幅の広いデザインを目指し多様な人とデザインする

アスピレーション(熱望・願望)

③青天井で発想する

制約を外して発想することでものごとの本質を探る

④つくりながら考える

小さな試行錯誤を積み重ねてチームワークを結束する

プロジェクトの一例

それぞれのプロジェクトには様々なデザイナーが参加

グッジョブ×ジョブ ～ミリョク発見! おしごとマッチング!～

<課題>

- ・発達しょうがいのある子どもたちに職場体験の機会がなく「自分」にどんな「仕事」が向いているのかわからない
- ・そのまま就職し、働きづらさに…



<実践>

- ・子どもたちの就業への関心を高める「動画」の制作
- ・知識を深める「職場見学」
- ・働く経験を積むための「体験」

ノリノリ'S

～ノフレイル リズムに のって リフレッシュ～

～All together リズムにのって つながろう～

<課題>

- ・「サロン」や「転倒予防教室」の内容のマンネリ化、参加者が固定化
- ・コロナ禍で高齢者の「フレイル」が進行



<実践>

- ・高齢者が楽しめる新しい健康づくりのコンテンツ開発
- ・健康づくりコンテンツを広げる取組(健康づくりアイドル「ノリノリ'S」結成)

研究会では、6つのプロジェクトを実践中!

詳しくはHPをご覧ください!

<https://fukushi-design.jp/>

最初は福祉に関わってくれませんか、福祉に入ってきてくださいと呼びかけたが、なかなか入ってきてくれなかった。当事者の方と手を取りあって福祉から飛び出してみることで、お互いにとってよい作用が発生したのが「福祉とデザイン研究会」。

福祉福祉しすぎていると当事者のことを心配しすぎる部分があるが、福祉分野以外の人とは違う視点で見てくれるので気づきが多い。



山岡 伸次 さん

10月は「福祉とデザイン」をテーマに、老若男女、障がいの有無にかかわらず、楽しく暮らせる地域共生社会の実現につながる取り組みをご紹介いただきました。

それぞれが持つパズルを組み合わせ、誰もがおしゃれにかっこよく生きるヒントがたくさんありました。

課題を地域とともに解決する「地域福祉の根源」について新たな気づきの機会となりました。

参加者の声



- ・福祉の外の土俵に上がって、実行していることがよい。
- ・福祉は高齢者のイメージがあったが、若い人の参加が多い。
- ・関わっている人達が、みんな元気で笑顔がある。
- ・資源には限りがあるので、今ある資源を有効活用する必要がある。そのためには、公的な立場の人だけでなく、様々な人を巻き込む必要がある。
- ・プロジェクトのネーミングやキャッチコピーがかっこいい。
- ・「福祉」という言葉は、取っつきにくいイメージがあったが、「デザイン」、「おしゃれ」という言葉を用いて身近に感じる。
- ・青天井の発想がデザインをより広げていく一つのポイントだと感じた。行政だと枠の中で考えがちだがそうでないのがよい。
- ・介護予防体操はマンネリ化しているが、音楽を取り入れた事がよい。これを誰が現場に広めていくのが今後の課題と感じる。
- ・当事者の声に耳を傾け、雇用を生み出している事がすごい!
- ・同職種では視野が狭くなるが、多職種が参加することで、面白いアイデアが生まれ実際に実現しているのがすごい。
- ・違う分野の人を巻き込むことで、目からうろこの発想が生まれている。
- ・多職種が参加することで、「困りごと」の拾い手が増える。
- ・グッジョブ×ジョブの取り組みが日常的にあれば、障がいの有無にかかわらずとても良い環境となる。
- ・取り組み自体を知らなかったが、聞いていて楽しそうに感じた。
- ・「セミナー」や「会議」を行う場所を堅苦しくせず、環境に配慮しているところが良い。
- ・社協に対するイメージが変わった。いろいろな事にチャレンジしていて、すごい!

「滋賀の医療福祉を守り育てる」県民フォーラム

○日 時：11月16日(土)14時～16時30分

○場 所：ピアザ淡海

2階ピアザホール(滋賀県立県民交流センター)

○ゲ ス ト：滋賀県住みます芸人「ファミリーレストラン」

○セミナー：「資産の整え方」、「これからの車との付き合い方」
「シニアの暮らしに適したリフォームとは」

○体験ブース：シニアカー試乗体験、ストレスチェック、血管年齢、反射神経チェック、脳年齢

【次回ワーキンググループ会議】

○日時：令和6年12月19日(木)18:30～20:00

○場所：滋賀県庁新館7階大会議室(Web参加可)

○テーマ：「みんなで考えよう!地域の困りごと」

○話題提供者：関西鍼灸院 平木 愛 さん

医療福祉の地域創造会議 事務局

(滋賀県庁 医療福祉推進課内)

Tel 077-528-3529

e-mail info@chiikisouzoukaigi-s-higa.jp

